



図書館だより



見沼小学校図書館 令和6年1月号 *読書は心の栄養*

【3学期が始まりました】

みなさんは書き初めをしましたか？書き初めには「一年の抱負を決める」という意味があります。一般的には1月2日に行われますが、これは昔の仕事始めの日であり、仕事始めと同日に書き初めをすると縁起が良いとされていたことが理由です。

また1月2日に習い事を始めると上達しやすいという言い伝えから「字の上達を願う」などの意味も込められています。

(東洋館出版社 保育パーフェクトダイアリー2024より)



【冬休み本の返却】

冬休みの本の見沼っ子全員返却目標
2月2日(金)でお願いします。

図書館の時間を確認して、借りた本の返却準備をしましょう。本が見つからないときには保護者の方と一緒に探しましょう。学校の本はみんなの本です。次の人が本を待っているかもしれません。

早めの返却をお願いします。

【1月の休館】

<1月> 木曜日休館

1月29日(月)~1月31日(水)

※図書館入口にも貼りだします。

【多読賞】

3月15日(金)までの冊数で多読賞を決定します。
昨年の自分の冊数を超えられるよう読書しましょう。

冬休みは、クリスマスやお正月などなど短い期間にギュッと楽しいイベント盛りだくさんであつという間に終わってしまった！という人が多いのではないのでしょうか。読書はできましたか？

読まないで返却することがないように、時間を計画的に使って自分の時間、読書の時間をつくるようにしましょう。



【龍・辰の出てくる本紹介】



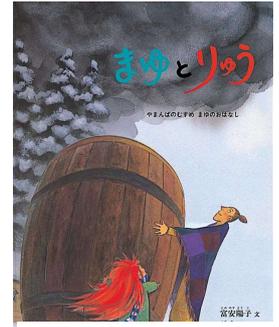
作: すとう あさえ 絵: おくはら ゆめ
出版社: ほるぷ出版



作: 松成真理子
出版社: 白泉社



作: ルース・スタイルス・ガネット
/ わたなべ しげお 訳 / 他



作: 富安 陽子
絵: 降矢 なな
出版社: 福音館書店

『世間胸算用』

文学まちがい探し

下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください

おみそか
大晦日、金を借りようと浪人の細君が質屋に持ち込んだのは、なんと長刀のさや。「こんなものでは金は貸せない」と投げ返した質屋に、細君は「由緒ある品を投げるとは何事！」とごね始めます。



『世間胸算用』

井原西鶴

元禄文化を文学の世界で代表する井原西鶴（一六四二—一六九三）生まれは大坂・難波の裕福な商家で、まずは俳諧師として名を知られました。

流行の軽妙な句を、機関銃のように吐き出すことができ、一昼夜で二万三五〇〇句という記録も持っています。

『世間胸算用』でも、こうした西鶴の生まれ、育ち、才能をうかがい知ることが出来ます。

江戸時代、大きな商取引は、たいてい一二月末日決算でした。

そのため、人々はそれぞれの立場で、この一日、東奔西走します。掛け取りの目をいかにごまかすか。それを見抜いて全額集金するにはどうするか……

金策のための質屋での攻防や借金で試される家族の絆、はては人間に欺かれる神様までが登場する五巻二〇話の物語。

活気あふれる大晦日の町や生き生きとした人物の描写は、その世界に生まれ育った著者ならでは。そして落語のように笑われる各話の展開には、俳諧師、西鶴の乾いたユーモアが生きています。

【デジタル化】～今月からスタート～

今月からいろいろなお使いがデジタル化されます。携帯の中に学校の情報があり、外出先や仕事先などで学校のことを確認するときには便利です。よく見えないときは拡大もできます。家族間での共有も「転送」で可能になりますし、その時にコメントをつけて注意事項を伝え合うこともできます。その一方で必要な情報は発信者から発信されているので「見ていない」「知らなかった」は受信者側の自己責任となります。便利になる事には注意が必要だということを意識しましょう。家族や友達と声をかけあって、デジタル化された情報について確認するとよいですね。



本もデジタル化していてそれを「電子書籍」といいます。音が出たり、絵が動いたりするものもあります。紙と違った面白さがあるので読んでみてください。



令和6年元日、北陸地方で大きな地震が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。